



市の子育て世代は子育て支援や教育環境について

近隣市との比較のなかでも高い満足を感じています

市では現在、令和3年度～12年度を対象期間とする第6次碧南市総合計画の策定に向けて各種資料を収集しています。その一環として、市および近隣の7市に在住している25歳以上39歳以下の人に対して子育て世代webアンケートを実施しました。アンケート項目は8は、各市の在住者が自分の住んでいる市の子育て支援や教育環境についてどのよう

に評価しているかを問うものとなっております。その評価は5段階（①大変充実している②ある程度充実している③普通④あまり充実していない⑤全く充実していない）から選ぶ形です。碧南市民のアンケート回答結果は次のとおりです。

1 保育園・幼稚園の受入れ（施設数、定員、低年齢保育）

①6.5%②43.5%で、約5割の人が充実を実感しており、この割合は、7市中安城市と同率1

位です。2子ども医療費等の費用の軽減・補助①14.8%②40.7%で、5割以上の人が充実を実感しており、安城市に次いで2位です。3保育園・幼稚園等の費用の軽減・補助①3.7%②33.3%で、約4割の人が充実と実感しており、安城市に次いで2位です。4小・中学校の教育環境①3.7%②27.8%で、3割以上の人が充実を実感しており、刈谷市、安城市に次いで3位です。5子どもの居場所（学童保育、児童館、遊び場、公園など）①9.3%②36.1%で、約5割の人が充実を実感しており、刈谷市に次いで2位です。6子どものスポーツ、文化活動の環境①5.6%②25%で、約3割の人が充実を実感しており、刈谷市に次いで2位です。7子どもの医療体制（小児科・救急病院）①2.8%②37%で、約4割の人が充実を実感しており、安城市、刈谷市に次いで3位です。8子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポート①4.6%②24.1%で、約3割の人が充実を実感しており、刈谷市に次いで2位です。以上のように8項目中1位が1項目、2位が5項目、3位が2項目であり、市の子育て世代は、子育て支援策および教育環境について、近隣7市との比較でも高評価していることが分かります。

今後とも、スポーツ施設の充実も含め、若い世代の皆さんにも満足度の高い市政の実現に向けて、より一層の努力を重ねてまいります。

中高生海外派遣学生決定 姉妹都市エドモンズ市へ

市では、若い人たちの国際交流に対する理解と両市の親善を深めることを目的として、昭和62年よりアメリカ合衆国エドモンズ市へ中高生などを派遣しています。

今年はエドモンズ市へ中高生10人が8月9日（金）に出発し、現地の一般家庭でホームステイして8月22日（木）に帰国する予定です。

派遣メンバー（敬称略）

伊藤櫻子（東中3年） 江坂天那（西端中3年）
岡部涼花（東中3年） 小池葵子（中央中3年）
齋藤和花（南中3年） 重松涼香（中央中3年）
土屋璃久（西端中3年） 土屋瑠久（西端中3年）
徳重凜香（南中3年）
高橋にいな（安城学園高1年）
豊倉啓輔（引率） 神谷美里（引率）



姉妹都市学生使節団ウェルカムパーティー

とき 7月26日（金） 18時30分～
ところ 文化会館
定員 100人程度
参加費 500円
申込み 地域協働課地域協働係 ☎(95)9872